

【招待講演】

『データサイエンティスト・ブーム』後の企業におけるデータ分析者像を探る

尾崎 隆

株式会社リクルートコミュニケーションズ データサイエンティスト

〔概 要〕

2012 年秋に Harvard Business Review 誌で Thomas H. Davenport が「データサイエンティスト」は「21 世紀で最もセクシーな職業」「データ分析でビジネスに貢献するスーパーマン」と紹介して以降、諸外国同様に日本でも「ビッグデータ」「データサイエンティスト」のブームが吹き荒れた。一方で、ブームの到来が急激だった分その終焉も早く、2013 年 9 月頃には「データサイエンティスト」ブームはほぼ終了したと Google Trends の検索結果からうかがえる。しかしながら、この短期間のブームの間に多くの企業でデータ分析の重要性が認識され、ブーム終了後も継続的なデータ分析体制の整備を進める企業の事例が散見される。その中には「スーパーマン」的な「データサイエンティスト」像からの脱却を目指す動きも見られる。本講演では、「データサイエンティスト」ブームの熱狂が過ぎ去った後、企業におけるデータ分析の世界で、より堅実な「データ分析者」としてどのような人物像が求められているかを詳説する。